



# 熊本地震ボランティアと 町の災害対応

～ 町ぐるみの取組へ～



# 熊本地震について

## 《発生日時》

◆平成28年4月14日(木)21時26分 【前震】

マグニチュード6.5 益城町で震度7を観測

◆平成28年4月16日(土) 1時25分 【本震】

マグニチュード7.3 益城町及び西原村で震度7を観測

## 《被害》

◆死者:49名 ◆関連死疑い:20名

◆行方不明者:1名 ◆負傷者:1,684名

◆避難者数:18万3882名(4月17日最大時)

◆被害総額:4.6兆円(最大・推計)

# 三芳町役場からのボランティア



- 第1班・・・平成28年4月23日～27日（2名）  
熊本市内、益城町にて活動
- 第2班・・・平成28年4月28日～5月2日（3名）  
益城町、南阿蘇村にて活動



# 被害の様子(熊本市内)



# 被害の様子(熊本市内)



# 被害の様子(熊本市内)



# 被害の様子(熊本市内)



# 被害の様子(熊本市内)



# 被害の様子(益城町内)



# 被害の様子(益城町内)



# 被害の様子(益城町内)



# 被害の様子(益城町内)



# 被害の様子(益城町内)



# 被害の様子(益城町内)



# 被害の様子(益城町内)



# 被害の様子(益城町内)



# 被害の様子(南阿蘇村内)



# 被害の様子(阿蘇大橋崩落現場)



# 被害の様子(南阿蘇村内)



# 避難の様子 (益城町避難所)



救援物資配置マップ



# 避難の様子(熊本市城東小学校)



ダンボールベッド

# 避難の様子(野口健 益城町テント村)



# 避難の様子(益城町)



# 避難の様子(南阿蘇村)

ちょうよう21ツインアリーナ

長陽庁舎 日赤  
キッズルーム



# ボランティアセンターの様子

みなさん おはようございます!!  
ボランティアに来ていただきありがとうございます!

中学生は保護者同伴  
小学生以下ボランティア参加はできません!

★受付は 9:00 からの予定です! ★  
8:30までは車中での待機をお願いします。  
(他キヨロから8時30分からと告知してお送りしております。御了承下さい)

8:30になりましたら、5列に並び待っていただければありがたいです  
みなさんのご協力をお願いします。 奄城町災害ボランティアセンター一同

ボランティア  
に来てくれて  
ありがとう



# ボランティアセンターの様子



# 町の防災

## 想定地震

5種類の首都直下地震を想定

⇒最も切迫性が高い地震

・東京湾北部地震(海溝型／町内震度6弱／30年に70%)

《熊本のような活断層型》

・立川断層帯地震(町内震度6弱／30年に0.5～2%)

・関東平野北西縁断層帯地震  
(町内震度6弱／30年に0～0.008%)



# 町の防災

## 東日本大震災以降の取組

### 総合対策

- ①地域防災計画の全面改訂(H27.3)
- ②地域防災計画概要版(防災ガイドマップ／避難経路等)の全戸配布(H27.9)
- ③地域連携避難訓練(3回目)の実施(集会所等一時避難場所から指定避難所へ)
- ④地域防災初期行動マニュアルの作成(H24.12)
- ⑤町災害対策本部体制・事務分掌の大幅見直し(避難・救助に重点化)
- ⑥自主防災組織の育成(補助金交付5団体)、地域防災訓練の促進
- ⑦耐震診断・耐震補強の助成制度／都市計画課
- ⑧業務継続計画の作成／政策推進室

# 町の防災

## 東日本大震災以降の取組

避難所体制の充実

備蓄品の整備

情報伝達・収集対策

要援護者支援

帰宅困難者対策

エネルギー対策

支援協定



# 町の防災

## 【避難所体制の充実】

- ①緊急避難対応職員の指定及び避難所鍵の貸与(町内在住／夜間・休日の避難所開設対応)
  - ②関係行政区長への避難所鍵の貸与(夜間・休日の避難所開設対応)
  - ③職員参集訓練、避難所担当職員の資機材使用研修
  - ④エリア避難所連絡会議の設置
  - ⑤避難所運営ガイドライン(案)を地域で検証中
  - ⑥指定避難所(各学校)の耐震化(非構造部材を含む)／教育総務課
- ※集会所はすべて新耐震基準

## 【備蓄品の整備】

- ①備蓄食料の避難所ごと分散配備  
(県想定避難者数で5日分25,000食を確保／避難所エリアの人口比率で配分)
- ②備蓄2ℓPET保存水を増強中(県想定避難者数で2日分3,800本確保へ)
- ③プライバシー対策用品(段ボール間仕切り、着替えテントなど)
- ④避難所環境の改善(ロールマット等)
- ⑤ガソリン発電機とLPガス発電機のW配備

## 【情報伝達・収集対策】

- ①防災行政無線のデジタル化工事(H27～30の4年計画)
- ②町災害対策本部用PHS電話の導入
- ③一部にソーラータイプのパンザマストの導入

# 町の防災

## 【要援護者支援】

- ①災害時要援護者名簿の作成と地区防災関係者への配付(日頃からの見守り・安否確認)
- ②福祉避難所開設に関して16の民間福祉施設との協定
- ③要援護者対応の避難所用品(身障者対応トイレ、オストメイト対応トイレ、パーテーション、エアマット、お粥、シチュー缶詰、アレルギー対応粉ミルク など)

## 【帰宅困難者対策】

- ①町内発生の帰宅困難者(従業員や学生)の1泊分の食糧を避難所に振り分けて備蓄
- ②九都県市の提携で「コンビニ」「ファミレス」「GS」等が「帰宅支援ステーション」
- ③町発生の帰宅困難者一時滞在施設:竹間沢公民館・藤久保公民館
- ④一斉帰宅の抑制と事業所備蓄の推奨 等

## 【エネルギー対策】

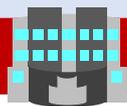
- ①一部の指定避難所の屋根にソーラー発電設備
- ②一部の指定避難所にLPガスのバルクや外部取出しユニット整備

## 【支援協定】(東日本大震災以降11協定)

- ①栃木県上三川町との相互応援協定
  - ②町内スーパー・食品会社との物資支援協定
  - ③物資輸送に関する協定
  - ④福祉避難所開設に関する協定
  - ⑤避難所特設公衆電話の設置協定
  - ⑥司法書士会との被災者相談支援協定
  - ⑦コミュニティメール配信に関する協定 ほか
- …全28協定あり

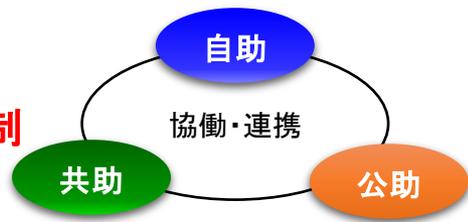
# 町の防災

## 災害へのそなえ(予防・事前対策)



### 町の施策(公助)

- ▶ 各種イベント、訓練、広報紙等を通じて**防災知識の普及・啓発**を行います。
- ▶ 行政区単位を基本とした自主防災の取組を促進し、**研修費や資器材費を助成**します。(三芳町自主防災組織育成補助金)
- ▶ 各種防災協定の締結を進めるとともに、援助の**受入れ体制を整備**します。



### 住民自身でできること(自助)

- ▶ 家族で、災害時の避難方法、安否確認方法等を話し合いましょう。(家族防災会議)
- ▶ **行政区・自治会に加入**しましょう。
- ▶ 地域の自主防災活動への積極的な参加をお願いします。



### 地域防災組織のとりくみ(共助)

- ▶ 地域の様々なイベント、防災訓練等を通じて、近隣の助け合いや**自主防災活動の活性化**に取り組みましょう。

# 町の防災

## 地域連携避難訓練



【地区災害対策本部設置訓練】



【指定避難所誘導】



【要援護者避難誘導】



【消防団 地区パトロール】



【階段避難車による要援護者マンション避難】



【指定避難所開設】

## 熊本地震の教訓

「連鎖地震」による誤算、「地震に強い県」神話による危機意識の低下

○余震で長期にわたる大量の避難者 ○想定外の家屋倒壊・防災拠点崩壊

○屋外避難・車中泊による避難者把握困難と健康被害 ○物資救援の滞留 など

# これからの町の防災

## ボランティア派遣について

今後も、一人でも多くの職員が  
ボランティアや職員派遣などを**体験**することで、  
町の非常時の体制を**イメージ**し、  
有事に**的確な動き**ができるようにしていきたい。

### 《今後(現在)の活動》

- ・第3班・・・平成28年6月18日～22日(3名)
- ・第4班・・・平成28年6月25日～29日(3名)

## 町の防災について

熊本地震の教訓を生かし、さらに訓練等を充実させていく。